

2023.7.1
Vol.258

かわ

Contents vol.258

- 河川協会会長挨拶…………… P1
- 楽しく川で遊ぼう…………… P2
- わがまちのかわ◎第54回**粕屋町**…………… P3~P4
- 水防演習…………… P5
- 第1回福岡県災害復旧実務講習会…………… P6
- 河川愛護月間・河川愛護活動…………… P7~P8
- ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!
No.13 アカオビシマハゼ、シモフリシマハゼ
およびシヨウキハゼの分布と生態について
…………… P9~P10
- 河川協会からのお知らせ

就任のご挨拶

福岡県河川協会

会長 よし だ 吉田 けん いち ろう 健一郎

福岡県議会県土整備委員会委員長：古賀市選出



去る、5月16日、福岡県議会県土整備委員会委員長に選任され、併せて福岡県河川協会会長に就任いたしました。

本協会は、昭和26年に災害復旧事業の促進を目的とし「福岡県防災協会」として設立され、2年後の昭和28年に「福岡県防災治水協会」と名称変更を行った後、昭和47年に「福岡県河川協会」となり現在に至っています。

この間、昭和28年の西日本大水害をはじめ、平成29年の九州北部豪雨から5年連続の大雨特別警報発令など、毎年のように集中豪雨による災害が発生し、尊い人命と多くの財産が失われてまいりました。

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化しており、毎年のように大規模な災害が発生しています。さらに大雨災害発生危険度が急激に高まる「線状降水帯」の発生により、ますます災害のリスクが高まっています。

このような水害を防止するために、本県においては、災害復旧事業をはじめ各種の河川整備事業の推進などハード面はもちろん、災害発生時の被害軽減のための市町村による住民の避難誘導體制の強化、洪水ハザードマップの整備などソフト面においても鋭意対策が進められています。また、令和4年度までに排水ポンプ車12台を配備し、洪水時における迅速な浸水被害の軽減を図る体制を整えているところです。

併せて、国は流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」への転換を進めております。福岡県においても、国、県、市町村からなる流域治水協議会を設立し、流域治水の取り組みの全体像を示した「流域治水プロジェクト」を公表、流域治水対策を本格的にスタートさせたところです。

一方で、河川愛護月間を中心に、良質な河川環境を求める市民の愛護活動も活発になり、河川浄化も進んでまいりました。県内各地の学校においても環境学習も行われています。

今後、治水・利水・親水の調和を図りながら河川事業を進めていくうえで、河川協会としても、講習会、機関誌「かわ」、ホームページの活用などを通して、より効果的な活動を行ってまいりたいと考えております。

皆様のより一層のご指導とご支援をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

安全に楽しく川で遊ぼう!!!



川は人々の生活や心に安らぎを与える「憩いの場」であり、貴重な自然体験ができる「学びの場」でもありますが、その一方で、急激な増水など様々な危険が潜んでいます。このような川を安全に利用していただくために、福岡県では、平成21年度より毎年、小中学生を対象とした「ふくおか水辺の安全講座」を開催しています。

※令和4年度は、県内6ヶ所で開催しました。

※今年度の開催状況につきましては、福岡県県土整備部河川整備課のHPをご覧ください。

開催講座の紹介

屋内では、ビデオ映像を用いて水辺の危険箇所などを学習します。屋外では、実際に川の中に入り生物調査やカヌー乗船をおこない、川と触れ合うことで川の大切さを学びます。また、ライフジャケットの着用やレスキューロープ投げなどを体験し、増水時に救助が必要になった時の対処方法を学びます。



ロープを使った救助訓練



ライフジャケットを着用し生物調査を実施

～川の利用についてのお願い～

平成20年に兵庫県神戸市内を流れる二級河川都賀川において、短時間の急な増水により、河川内で遊んでいた大人と子供が流されて死亡するという悲惨な事故が発生しました。このような大きな水難事故やケガにあわないように、川で遊ぶときには次の点に注意しましょう。

平成20年7月28日の都賀川の状況



14時20分頃の状況



30分後の状況

川に行く前に

- 1 子どもだけでなく、大人といっしょに行きましょう。
- 2 ライフジャケットや足に固定できるサンダルなどを付け、安全対策をしっかりとしましょう。
- 3 気象情報を確認しましょう。

川で遊んでいたら

- 6 空が急に暗くなったり、遠くで雷が鳴ったらすぐに川から逃げましょう。
- 7 普段流れてこないペットボトルや流木、落ち葉などが流れてきたり、水位が急に低くなったら川から逃げましょう。
- 8 雨が降り出したら橋の下で雨宿りせず川から上がりましょう。
- 9 溺れている人がいても自分で助けに行かないで大人を呼びましょう。
また、近くにペットボトルや木の切れ端など浮くものがあれば投げ入れましょう。

川についたら

- 4 流れの激しいところや深そうなところ、滑りやすい石やコンクリートの上など、危険な箇所を確認して気をつけましょう。
- 5 雨の後など、増水しているときには川に入らないようにしましょう。



福岡県河川管理課で「川の安全利用ガイドブック」を作成しています。是非ご活用ください。
URL: https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/519070_60190730_misc.pdf



郷土ふるさと 福岡の河川を知る わがまちのかわ



第54回 粕屋町



多々良川 雨水橋下流(粕屋町大字江辻付近)

粕屋町の概要

粕屋町は、福岡県北西部に位置し、西に福岡市、北に久山町、東に篠栗町・須恵町、南に志免町と1市4町に隣接しています。

また、九州自動車道の福岡インターチェンジや福岡都市高速道路のランプを有し、県内を横断する国道201号や都市圏を取りまく福岡外環状線が通っているため、交通の要衝となっています。

さらに、町域を縦横に貫くJR篠栗線(福北ゆたか線)とJR香椎線の6つの駅があり、博多駅までJRで約10分、福岡空港まで車で約15分、博多港まで車で約20分という、都市機能の利便性を享受できる町です。

町の面積は14.13平方キロメートル、自然環境にも恵まれており、福岡市近郊に位置しながら田園も多く残り、プロッコリーなどの都市近郊農業も行われています。近年では商業が発展し、交通の利便性が高いことから、流通業務関連の開発が進んでいます。

また、筑前三大池の一つである駕輿丁池をはじめとする大小のため池や多々良川・須恵川を有する緑と水辺に囲まれた町でもあります。

多々良川、須恵川は、それぞれ町の北部と南部を東西に流れています。特に、多々良川は流域面積171.8km²の福岡県の二級

河川の中で最大の流域をもち、その歴史は古く、多々良という名前は、たたら 鋳物を製造する際に使用する踏鞴(足で踏んで空気を送る大形のふいご)が語源であるという説があります。これを裏付けるように、古代の糟屋郡を統轄していた役所と推定されている国史跡「阿恵官衙遺跡」の長官「つきしねのむらじひろくに 春米連廣國」が698年に寄進した妙心寺のぼんしょう 梵鐘は国宝に指定されており、高い精錬技術を持った工人が多々良川流域で活躍していたものと考えられています。

全国的には人口減少時代といわれていますが、粕屋町では、まだしばらくは人口増加が続くと予測されており、将来推計人口の増加率(2015年～2045年)は1.204倍で、全国トップクラスの高い伸び率となっています。

都市と自然が調和し、身近に自然を感じながら、ゆとりある生活空間の中で、町民一人ひとりが誇りと愛着をもって暮らせる「太陽と緑のまち」。町民誰もが安心した暮らしを営むために、町民、地域と行政がお互いに役割と責任を担い、ともに力を合わせて、まちを創造する「協働でつくる安心のまち」。この2つを基本理念として粕屋町は、さらなる発展を目指していきます。

かよいちょうこうえん
駕与丁公園の紹介

季節を問わず自然が溢れる駕与丁公園は粕屋町のランドマークとして町内外多くの人々から愛されている公園です。

桜



粕屋町の町木である桜は駕与丁公園の魅力の一つです。ソメイヨシノ、オオシマザクラ、サトザクラなどを楽しむことができます。

バラ園



粕屋町の町花であるバラ。5月と10月になると、180品種 2,400株の色とりどりのバラが花を咲かせます。5月にはバラまつりが開催されます。

バラ園バラトンネル



バラのトンネルは高さ3m、長さ約20mあり、美しい花と甘く優しいバラの香りを楽しむことができます。

かすやの里



バラ園や公園内の遊歩道で見ることができます。
 系統：ハイブリットティー
 色：濃杏桃色の複色、花裏クリーム色 香り：淡い香り

駕与丁大橋



駕与丁池の中央にまっすぐ延びる駕与丁大橋は、交流広場と展望広場をつないでいます。中の島には東屋があり、気持ちよく過ごすことができます。

風車



駕与丁公園のシンボルである風車は展望広場にあります。展望台からは公園全体を眺めることができ、おすすめのフォトスポットです。

令和
5年度

遠賀川総合水防演習 を開催しました!

令和5年5月14日(日)飯塚市の遠賀川河川敷において、「令和5年度遠賀川総合水防演習」を開催しました。

「総合水防演習」は、

- ① 水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚
- ② 地域社会の防災意識向上
- ③ 災害対処能力の更なる向上

この3つを目的として、水防月間の中核行事として開催されています。

九州ブロックでは、国土交通省九州地方整備局、県(沖縄県を除く7県で持ち回り)及び開催市の三者共催となっており、令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、福岡県では、9年ぶりの開催となりました。

参加機関は、行政、警察、自衛隊、日本赤十字福岡支部、流域の水防団(消防団)と多岐に渡り、来賓や一般見学者を含めると、参加者1,000人以上の大規模な演習となりました。

大規模な水害を想定した今回の演習では、水防団による水防工法の実演、ヘリコプターによる救助訓練、関係機関の情報共有のための模擬テレビ会議、トリアージの実演などが、息もつかせぬ緊張感で行われ、その様子はYoutubeでも配信されました。

また、飯塚市役所の駐車場では、防災のことを楽しく学ぶための防災展が、同時開催されました。

「防災と情報～防災情報を避難行動に結びつけるために～」をテーマとして、様々な団体が出展し、防災出前講座、和太鼓演奏、クイズ大会、浸水ドア体験、VR災害現場体験、キッチンカー出店、ゆるキャラの来場など、もりだくさんの内容で、大盛況のうちに終了しました。

次回は、令和12年に筑後川河川敷で開催される予定で、詳細については、福岡県のホームページ等でお知らせします。入場無料ですので、ぜひご来場ください。



令和5年度

福岡県災害復旧実務講習会^(第1回)の報告

日時 令和5年4月28日(金) 10:00~16:10 **場所** 福岡県 中小企業振興センター

令和5年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県土整備事務所・支所及び県内市町村から104名の方に参加していただきました。

本講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者を対象に年2回開催しているものです。

第1回となる今回の講習会では、冒頭で「令和4年災害査定の大まか」として令和4年災害の被害状況や災害査定結果について報告しました。また令和4年災害査定を振り返って、見受けられた課題について説明しました。

次に、「災害復旧事業の基本原則」や「災害復旧事業の実務」、「災害報告・目論見書の作成」といった内容の講義を行いました。この中では、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(通称「負担法」)についての説明や、申請に必要な事務手続きについての説明を行うとともに、求められるスピード感・タイトなスケジュールにつ

いて理解してもらいました。

また、国土交通省九州地方整備局の松本技術検査官、財務省福岡財務支局の小林上席主計実地監査官を講師としてお招きし、災害査定時に申請者として気を付けるべきポイント・申請者としての心構えや、査定官、立会官それぞれの視点から見た災害査定について、近年の全国の事例も交えながらわかりやすく解説していただき、大変有意義なものとなりました。

本講習では災害復旧事業の初任者から経験者まで、幅広い方々に参加していただきました。災害は突発的なものであり、いつどこで発生してもおかしくありません。また近年は災害の頻発化・激甚化も叫ばれています。そのため、日頃から災害に対して準備をしておくことがより一層重要となります。12月に予定している次回の講習会も、参加者がスキルアップできるように企画してまいりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

令和5年度福岡県災害復旧実務講習会(第1回)プログラム

- | | |
|--|-------------------|
| 1 開会挨拶 | 8 災害査定と立会 |
| 2 令和4年災害査定の大まか | 9 都市施設災害復旧について |
| 3 災害復旧事業の基本原則について | 10 河川災害復旧の留意点について |
| 4 災害復旧事業の実務について | 11 道路災害復旧の留意点について |
| 5 災害報告・目論見書の作成について
(災害復旧管理システム) | 12 改良復旧事業について |
| 6 成功認定・再調査について | 13 成功認定の指摘事例について |
| 7 防災エキスパート会の活動および
災害復旧技術専門家派遣制度について | 14 災害査定の留意事項 |

アンケートに寄せられた声

- 災害が起きてからの動きの流れが知れてよかった。
- 災害査定における注意点や改良復旧事業で色々な事業があると知れて良かった。
- 災害が起きた際に、やるべきことが分かった。



講習会の様子



財務省 福岡財務支局 理財部 上席主計実地監査官 小林様



開会挨拶(福岡県 河川協会 植村局長)



国土交通省 九州地方整備局 企画部 技術検査官 松本様

7月は河川 愛護月間です

河川愛護月間推進標語

せせらぎに ぼくも魚も すきとおる



福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施しています。

1 街頭広報キャンペーン

県内の、福岡・北九州・久留米・飯塚の4つの地域において、街頭でチラシ等を配ったり、地域のイベントに参加して河川愛護意識の啓発活動を行います。



2 懸垂幕・看板の掲示

県庁や県土整備事務所で懸垂幕や看板を掲示し、住民の方に河川愛護を呼びかけます。



福岡県庁行政棟にて懸垂幕の掲示

3 河川功労者の表彰

河川の機能保全、河川愛護等に特に力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を表彰します。



4 河川愛護絵画コンクール

河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による絵画コンクールを実施し、優秀作品を表彰します。



入賞作品の展覧会、**参加賞あり!** 表彰式を行います。



河川功労者表彰の受賞者は毎年福岡県河川協会総会で表彰式を行っています!

河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

＼ 地域のかわをもっと元気に!! /

河川愛護活動に参加しましょう

河川愛護活動とは？

活動区間を決めて支援制度に登録していただき、福岡県から支援を受けながら、お住まいの地域の川の除草・清掃などの活動を行うものです。

※既に河川愛護団体・企業が、活動している区間には重複登録が出来ませんのでご注意ください。

福岡県では、河川愛護活動を支援するため以下の制度を実施しています。

名称	河川愛護団体	河川愛護企業 (アダプト企業)	河川愛護支援企業 (アシスト企業)
認定要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 県管理河川で活動 ② 会員数が25名以上 ③ 年2回以上の活動 ④ 左右岸合計で活動区間が250m以上 ⑤ 除草・清掃活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 県管理河川で活動 ② 個人事業主を除く企業等であること ※一般の企業に加え、農協や漁協などの組合、その他団体を含む ③ 年2回以上の活動 ④ 除草・清掃活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 県管理河川で河川愛護団体・企業の活動を支援 ※複数河川可 ② 整地・伐木・抜根等の支援活動を実施
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 河川浄化報償金の支給 (1団体につき年間7万円) ② 傷害・賠償責任保険の加入 ③ アダプトサインの設置 ④ 自走式草刈機の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ① 清掃用具等の支給 (予算の範囲内で、軍手や鎌等、活動に必要なものを支給します。) ② 傷害・賠償責任保険の加入 ③ アダプトサインの設置 ※登録が500m以上の企業等に限る ④ 自走式草刈機の貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ① 傷害・賠償責任保険の加入
登録状況	平成27年度 428団体 ↓ 令和4年度 523団体	平成27年度 81団体 ↓ 令和4年度 109団体	平成27年度 57団体 ↓ 令和4年度 65団体

アダプト企業・アシスト企業は競争入札参加資格における地域貢献活動評価の対象になります。詳細は下記のURLを参照ください。

(※アダプト企業については、活動区間(除草)が250m以上の企業が対象となります。)



<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kasenaigoo.html>

河川愛護の詳細・登録については で



お問い合わせは、お近くの県土整備事務所へ!

ふくおかの身近な川と さかなを知らろう！

No.13

いぬい
乾
りゅう てい
隆帝

アカオビシマハゼ、シモフリシマハゼおよびショウキハゼの分布と生態について

乾です。前号では、河川水辺の国勢調査のデータを用いて、ピリンゴ、ヒナハゼおよびヒモハゼの全国における分布パターンと生態の関係性について書いていきました。今回も引き続き、ハゼ類の分布と生態について、分布河川数の多かった順に説明していきたいと思えます。

1992年から2017年までのデータを集計した結果、生息する水系の数が11番目に多かった種がアカオビシマハゼ *Tridentiger trignocephalus* (図1) です。109水系中38水系で生息が確認されました(図2)。アカオビシマハゼは、全長が約10cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は青森県の岩木川から、南は鹿児島県の肝属川まで分布しています。比較的広域分布の種で、北海道を除く全地方に分布しています。ただ、どこの河川にでも分布している訳ではないというのが本種の特徴です。例えば、秋田県の雄物川から新潟県の姫川、近畿地方から中部地方にかけての斐伊川を除く日本海側の河川では確認されていません。他の種同様に、実際に分布している河川と分布していない河川の環境特性を比較したわけではないのですが、本種が分布していない河川は、河口まで比較的急勾配で、外洋に流入する、明確な汽水域を有さない河川が多いような印象があります。本種は、チチブ属の中で比較的海寄りの高塩分水域に生息していますので、高塩分の汽水域が発達しやすい河川を中心に分布しているのではないかと考えられます。

生息する水系の数がアカオビシマハゼと同数で11番目に多かった種がシモフリシマハゼ *Tridentiger bifasciatus* (図3) です。シモフリシマハゼの分布を図4に示しています。シモフリシマハゼは、全長10cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は宮城県の北上川から、南は鹿児島県の川内川まで分布しています。近縁種のアカオビシマハゼとは少々異なり、分布河川が集中しているという特徴があります。例えば、北上川から神奈川県鶴見川にかけての太平洋、庄内川、木曾川および鈴鹿川の伊勢湾奥部、兵庫県の加古川から広島県の芦田川、愛媛県の重信川にかけての瀬戸内海、長崎県の本明川から鹿児島県の川内川にかけての有明海・東シナ海には連続的に分布しています。他の種同様に、実際に分布している河川と



図1 アカオビシマハゼ

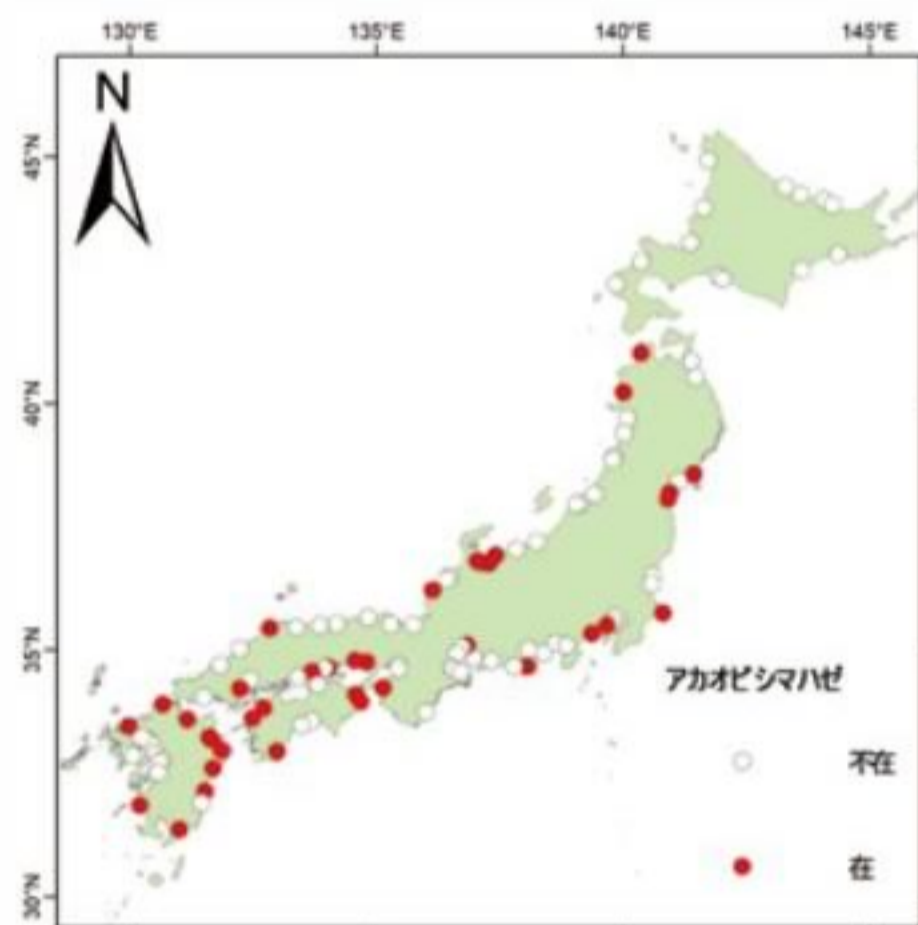


図2 アカオビシマハゼの生息河川

分布していない河川の環境特性を比較したわけではないのですが、本種が分布している河川は、比較的急勾配な印象がありますが、それだけではこの連続的な分布が説明できません。個人的には、浮遊期の生態が関係しており、それぞれの河川でメタ個体群を形成しているのではないかと想像しているのですが、実際のところは調べてみないと分からないですし、調べても分からないかもしれません。いずれにせよ他の種にはあまりみられない不思議な分布パターンをしています。なお、アカオビシマハゼとシモフリシマハゼが同一河川に分布している際は、シモフリシマハゼのほうが低塩分の水域に生息している傾向があります。

また、同じチチブ属で109水系中11水系(24番目)



図3 シモフリシマハゼ

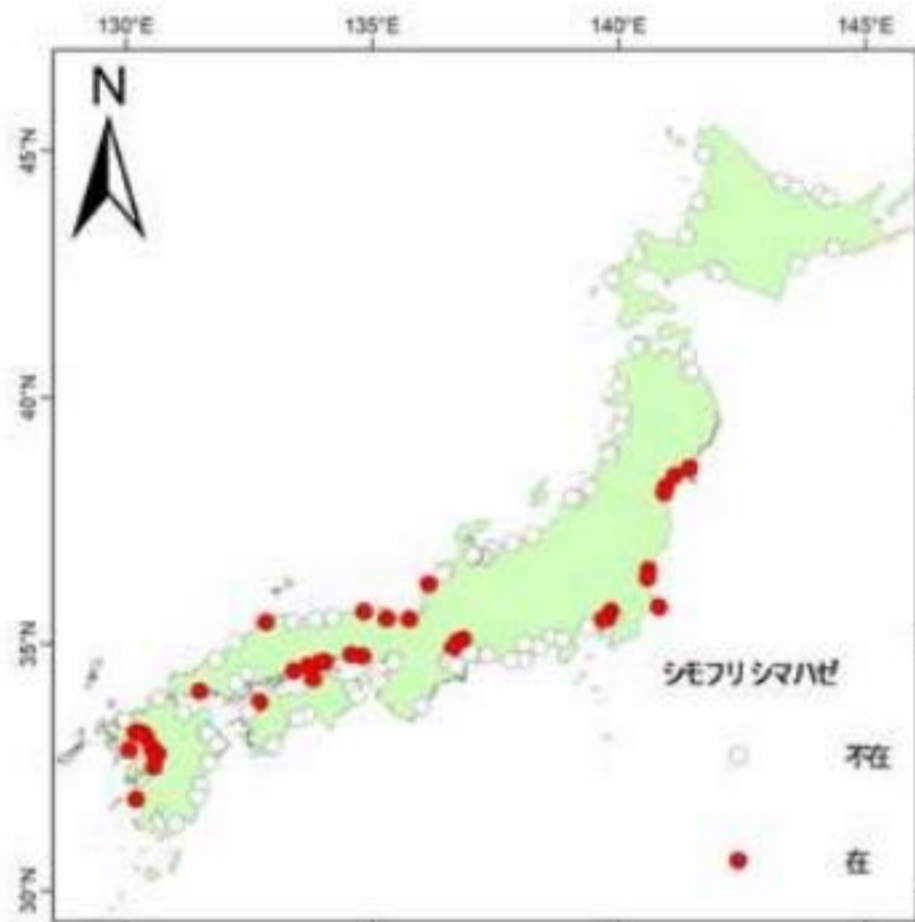


図4 シモフリシマハゼの生息河川

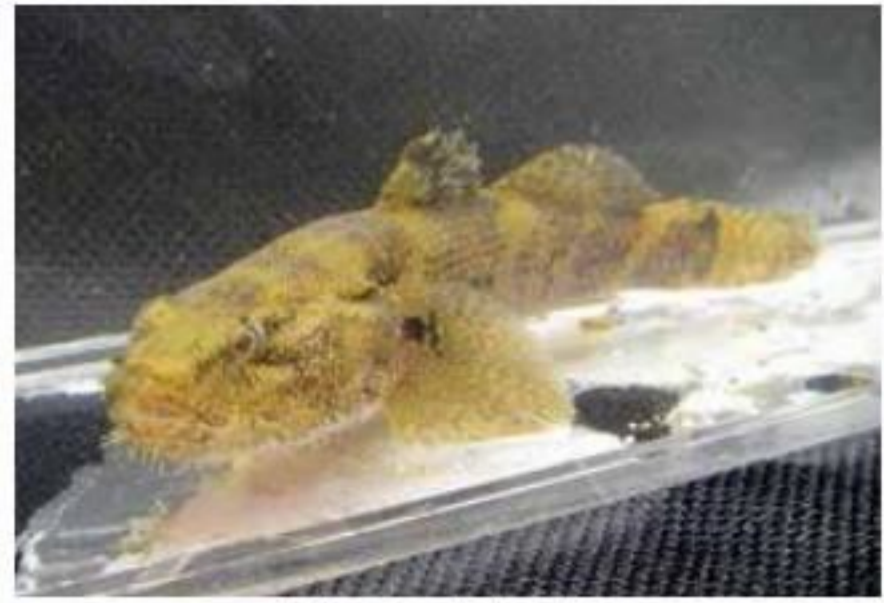


図5 ショウキハゼ

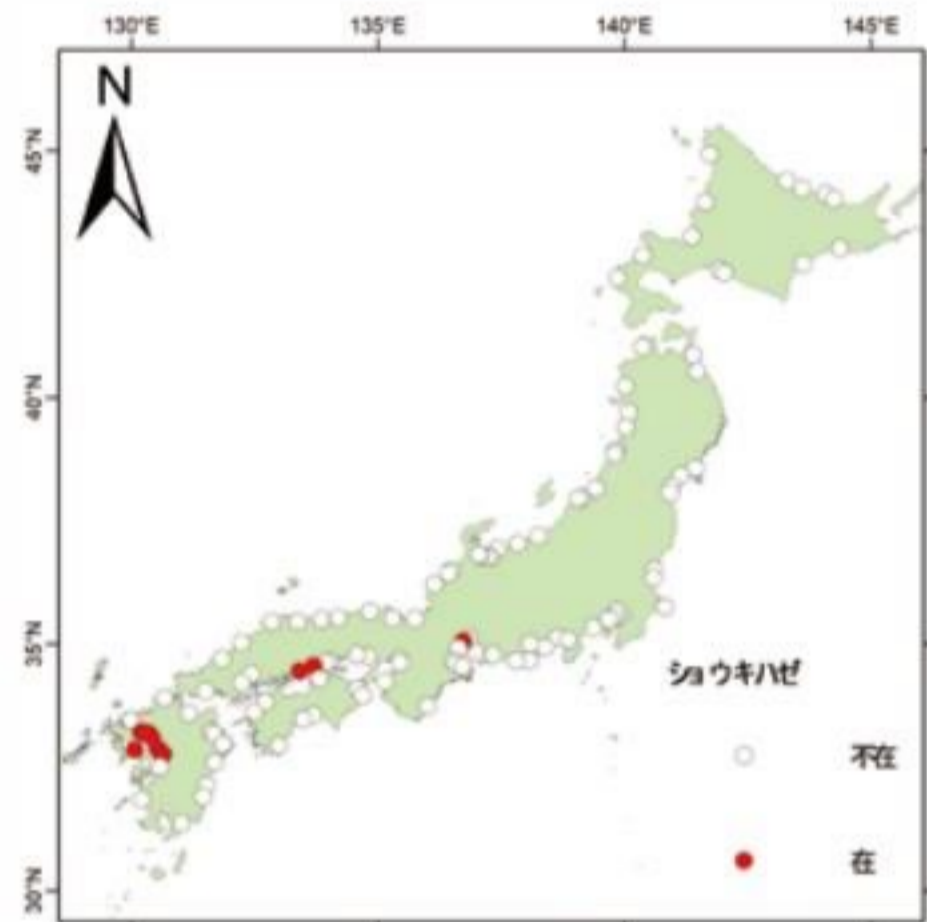


図6 ショウキハゼの生息河川

に生息していたショウキハゼ *Tridentiger barbatus* についても今回併せて紹介したいと思います。ショウキハゼ(図5)は、全長15cm程度の魚です。本種は、本州では、愛知県の本曾川、岡山県の高梁川、広島県の芦田川といった限られた河川にしか分布していませんが、有明海ではほぼすべての河川に分布しています(図6)。本種は泥干潟のカキ殻の中や、礫の下などに主に生息しているため、その河川に大規模な泥干潟が発達するか否かが本種の分布を左右していると思われます。

また、河川水辺の国勢調査では確認されていませんが、九州の汽水域には、同じチチブ属でシロチチブ *Tridentiger nudicervicus*(図7)という種も生息しています。瀬戸内海や有明海、八代海を中心に分布しているという点で九州内での分布域はショウキハゼとよく似ているのですが、本種はショウキハゼよりも砂っぽい干潟のカキ殻の中やタイドプールに生息しています。

次号は、出現河川数第13位以降の種について、今回同様に説明していきたいと思ひます。

謝辞：河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバーフロント研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献：

鈴木寿之・渋川浩一：新版 日本のハゼ、平凡社、2021



図7 シロチチブ

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員

主な著書／

- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

河川協会からのお知らせ

河川愛護月間推進標語

せせらぎに ぼくも魚も すきとおる

福岡県では、毎年7月1日から7月31日までを河川愛護月間と定め、各種事業を実施しています。

[公益社団法人 全国防災協会 定時総会]

令和5年5月30日(火)に(公社)全国防災協会定時総会が開催されました。福岡県からは、河川協会事務局2名が出席しました。

総会后、成田総括災害査定官より「災害復旧事業の最近の取組」と題して、災害復旧事業に関する情報の説明会が行われました。



[全国治水期成同盟会連合会 通常総会]

令和5年5月31日(水)に全国治水期成同盟会連合会の通常総会が開催されました。福岡県からは、高木うきは市長、森久留米市副市長、橋本大川市副市長が出席されました。

岡村次郎国土交通省 水管理・国土保全局長から「抜本的な治水対策をしっかりと進めていくという事も当然であるが、流域でいろいろな所で水を貯めて頂く工夫を皆さんのご協力で行っている。」とご挨拶がありました。



[公益社団法人 日本河川協会 定時社員総会]

令和5年6月5日(月)に(公社)日本河川協会の定時社員総会が開催されました。定時総会には出席せず、書面により原案に賛成しました。

編集後記

コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日以降5類感染症に移行されました。

屋外はもちろん、屋内でもマスクを着用していない人が少しずつ増えてきました。

風や草木の香りが感じられて、開放的な気分を味わえることがとても嬉しいです。

(植村・北川)

STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL:092-633-2826(直通)

FAX:092-643-3669

企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

